

NYマーケットレポート(2013年2月11日)

昨夜のNY外国為替市場は、欧州市場の堅調な流れが一服し、ドル円・クロス円は軟調な展開で始まりました。日本の円安に対する批判もある中、「G20で為替相場が協議される」との欧州の要人発言を受けて、円を買い戻す動きが強まり、序盤のドル円・クロス円は軟調な動きとなりました。その後、「ユーロは著しく過大評価されていない」との独連銀総裁の発言を受けて、ユーロが主要通貨に対して上昇し、円が主要通貨に対して軟調な動きとなりました。午後には上値の重いもみ合いの展開が続きましたが、終盤には米財務次官が「成長促進とデフレ脱却を目指す日本の努力を支持」と発言したことを受けて円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は終盤に大きく上昇する動きとなりました。

2013/2/11 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	92.64	92.76	92.37
EUR/JPY	123.85	124.06	123.51
GBP/JPY	146.12	146.55	145.87
AUD/JPY	95.27	95.74	95.19
EUR/USD	1.3373	1.3392	1.3364

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	93.50	92.64
EUR/JPY	125.37	123.79
GBP/JPY	146.80	146.05
AUD/JPY	96.07	95.26
EUR/USD	1.3413	1.3358

*LD高安は東京クローズ~NYオープンまでの高安

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	94.18	94.24	93.19
EUR/JPY	126.29	126.31	124.51
GBP/JPY	147.53	147.60	146.01
AUD/JPY	96.61	96.72	95.69
NZD/JPY	78.69	78.74	77.61
EUR/USD	1.3411	1.3428	1.3363
AUD/USD	1.0258	1.0288	1.0258

米主要株	終値	前日比
米ダウ平均	13971.24	-21.73
S&P500	1517.01	-0.92
NASDAQ	3192.00	-1.87
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	12748.15	-53.08
🇧🇷 ボルサ指数	45063.88	-25.48
🇧🇷 ボベスパ指数	休 場	

*ブラジル市場は、Carnivalで休場

2/12 経済指標スケジュール

08:50	【日】1月マネーストック
09:01	【英】1月RICS住宅価格
09:30	【豪】1月NAB企業信頼感
14:00	【日】1月消費者態度指数
15:00	【日】1月工作機械受注
16:45	【仏】12月経常収支
17:15	【スイス】1月消費者物価指数
18:30	【英】1月生産者物価指数
18:30	【英】1月小売物価指数
21:30	【米】1月NFIB中小企業楽観指数
22:00	【ポーランド】12月経常収支
22:00	【ポーランド】12月貿易収支
04:00	【米】1月財政収支

- ・米大統領一般教書演説
- ・米3年債入札
- ・カンザスシティ連銀総裁 講演

欧州主要株	終値	前日比
英FT100	6277.06	+13.13
仏CAC40	3650.58	+1.08
独DAX	7633.74	-18.40
ST欧州600	285.62	-1.72

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1649.10	-17.80
NY 原油	97.03	+1.31

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.26%	0.25%
3年債	0.39%	0.38%
5年債	0.85%	0.83%
7年債	1.35%	1.34%
10年債	1.96%	1.95%
30年債	3.16%	3.16%

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

欧州市場

21:55

G7、市場原理に基づく為替相場へのコミットメント再表明を検討～G20 当局者

22:00

ドル/円 93.45 ユーロ/円 125.20 ユーロ/ドル 1.3401

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6289.93	+26.00	ダウ INDEX FUTURE	13959	+33
仏 CAC40	3673.82	+24.32	S&P500 FUTURE	1516.00	+3.60
独 DAX	7658.40	+6.26	NASDAQ FUTURE	2776.75	+4.75

(出所:ブルームバーグ)

22:40

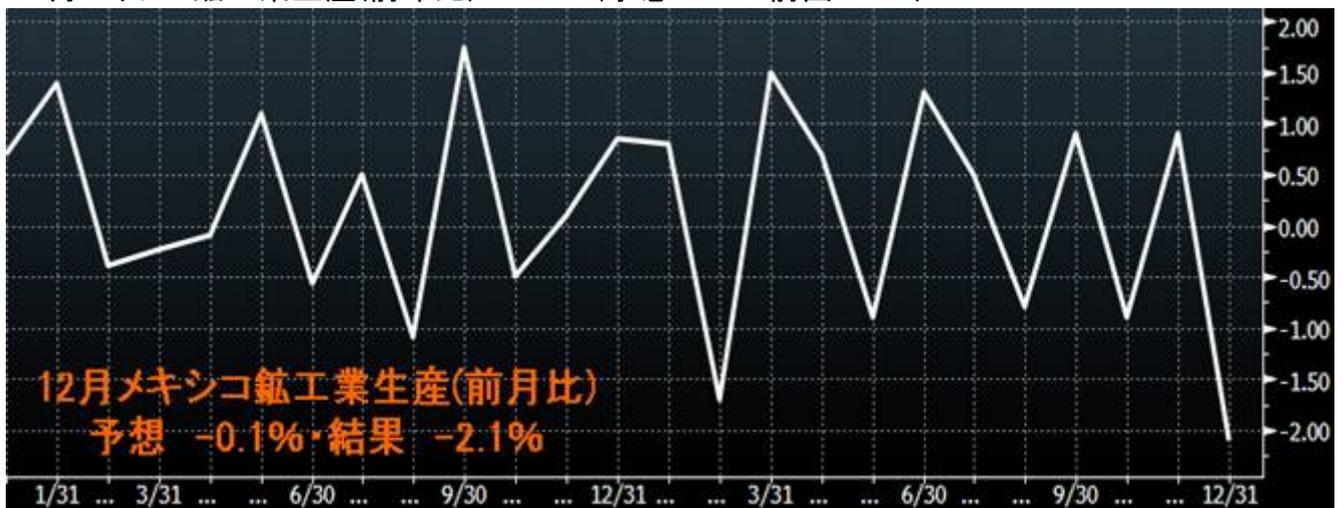
オーストリア財務相～為替相場が協議されるだろう

23:00

《 経済指標の結果 》

12月メキシコ鉱工業生産(前月比) -2.1%(予想 -0.1%・前回 0.9%)

12月メキシコ鉱工業生産(前年比) -1.1%(予想 2.0%・前回 2.8%)



(出所:ブルームバーグ)



《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく材料に乏しい中、欧州要人から G20 での為替相場が協議されるとの発言などを受けて円を買い戻す動きも出ている。

23:12

《 経済指標の結果 》

12月メキシコ貿易収支 9億6170万USD(予想 9億6170万USD・前回 9億6170万USD)



23:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	13967.63	-25.34
ナスダック	3192.63	-1.24

(出所:ブルームバーグ)

0:30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、主要な米経済指標の発表がない中、このところのダウ平均が上昇基調にあることや、前週末にナスダック総合指数が約 12 年 3 カ月ぶりの高値をつけたことから、利益確定の売りが優勢となった。

1:00

《 要人発言 》

バイトマン独連銀総裁

- ・「ユーロは著しく過大評価されていない」
- ・「ユーロ安を目指すのはインフレ加速招く」
- ・「ECB は債務危機対応でこれ以上の行動すべきでない」

《ここまでの欧州のポイント》

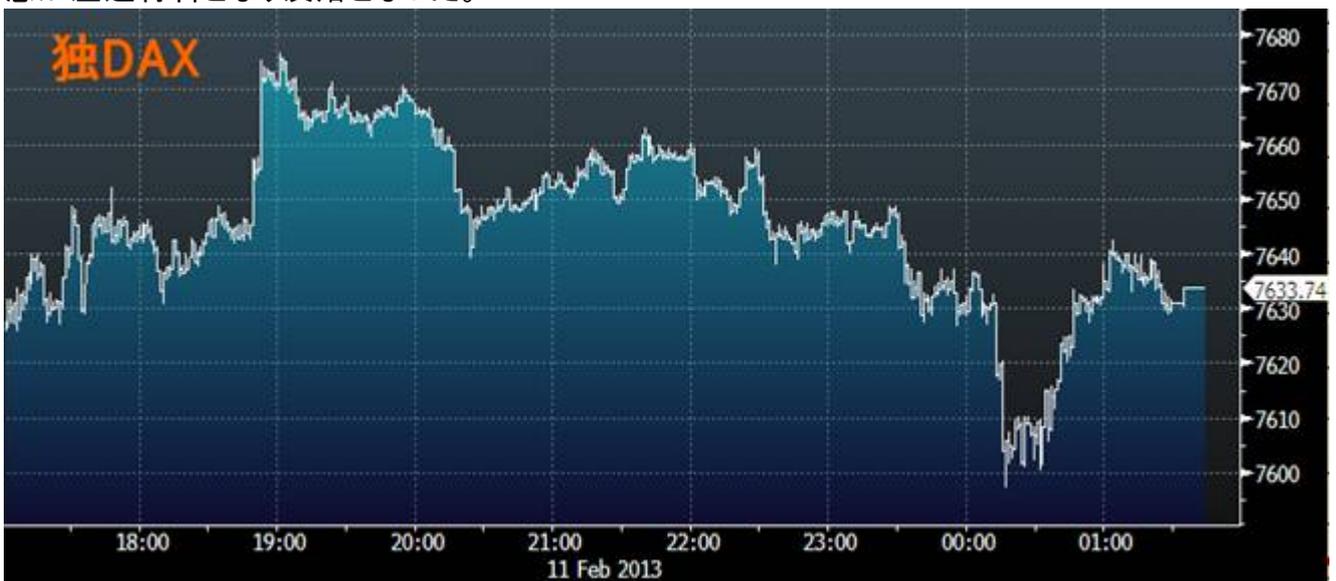
- ① スイス中銀（スイス国立銀行）のツルブルク理事は、スイス・フランの為替水準は高止まりしており、欧州の先行き不透明感のためフランの上限維持が引き続き必要だとの見解を示した。インタビューで、「スイス・フランは今現在のユーロに対する為替レートでも過大評価されている」と指摘。「物価安定を確実にするために最低限度の為替レートを維持するのは予見可能な将来において適切な手段だ」と述べた。
- ② スペイン政府の 2012 年財政赤字のデータが月内に公表される。10 年物スペイン国債の利回りは、昨年 7 月のピークから 200bp（ベーシスポイント）余り下がっているものの、大手格付け会社 2 社はスペインを投資適格級の最低に格付けしている。スペインの財政赤字の数字が最重要で、対 GDP 比で 8% 超なら格下げのリスクが高まる。7.5% 前後が予想されているものの、スペインの地方政府はここ 2、3 年、土壇場で驚きをもたらしてきたとの指摘も出ている。ムーディーズによるスペインの格付け（Baa3）、S & P は「BBB-」といずれも投資適格の最低。フィッチは 両社より 1 段階上の「BBB」で見通しはネガティブ。
- ③ ドイツ経済技術省が月報で、為替相場を押し下げることが目的とした措置は競争力強化に向けて持続する効果を持たないとし、ECB は金融政策決定において独立性を維持しなければならない。金融政策の第一の使命は物価安定の確保だと指摘した。また、世界的に景気が底を打ったことからドイツ経済の見通しは改善しているとの認識も示した。
- ④ オーストリアのフェクター財務相は、ユーロ圏財務相会合前に記者団に、相場を人為的に安くするのは不適切なことだろうと述べた。今はちょうど良い中間的な水準だが、ユーロは今よりもはるかに強かったこともあるし、弱かった時期もある。私の見解では、ユーロ相場について騒ぐのは理にかなっていないと述べた。一方で、一部地域が世界経済に寄与するような成長を生み出していない、また一部諸国が自国通貨の押し下げを図っているといった現象は懸念していると付け加えた。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6277.06	+13.13
仏 CAC40	3650.58	+1.08
独 DAX	7633.74	-18.40
ストック欧州 600 指数	285.62	-1.72
ユーロファースト 300 指数	1154.03	-8.07
-96.30 スペイン IBEX35 指数	8078.60	-96.30
イタリア FTSE MIB 指数	16529.87	-100.63
南ア アフリカ全株指数	40832.67	-59.98

(出所:ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 は、手掛かり材料に乏しく前週末の終値付近で一進一退となり、小幅続伸。一方、独 DAX はスペイン とイタリア政局の先行き不透明感が圧迫材料となり反落となった。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 13975.72(-17.25)、S&P500 1517.18(-0.75)、ナスダック 3191.72(-2.15)

《NY 債券市場・午前》

午前の債券市場は、今週の一連の米国債入札を控えて、持ち高調整の売りがやや先行した。ただ、主要な米経済指標の発表がなく手掛かり材料に乏しい上、オバマ米大統領による一般教書演説の内容を見極めたいとの様子見気分も強く、値動きは小幅だった。

午前の利回りは、30年債が 3.17%(前週末 3.16%)、10年債が 1.96%(1.95%)、7年債が 1.35%(1.33%)、5年債が 0.84%(0.83%)、3年債が 0.38%(0.38%)、2年債が 0.26%(0.25%)。

3:00

アイルランドの格付け見直し、ネガティブからステーブルに～米系格付け会社

3:05

《 要人発言 》

イエレン FRB 副議長

- ・「判断基準に達しても利上げは確実ではない」
- ・「雇用改善が政策運営の中心」
- ・「失業増加、構造問題ではなく循環的要因が主因」
- ・「量的緩和は経済成長の促進に寄与している」
- ・「物価や雇用の基準は政策の引き金ではない」

3:05

ユーログループ議長

- ・「ギリシャ、21日に次回融資を受け取る可能性も」
- ・「ユーログループ、キプロス支援計画であらゆる措置を検討」

4:40

《 要人発言 》

シオイブレ独財務相～記者団に

- ・「ユーロ相場に関する問題はない」
- ・「為替レートはG20で協議へ」
- ・「為替レートに関し我々は同じ立場」
- ・「為替レートを規制するべきではない」

4:10

NY金は、中心限月が前週末比 17.80ドル安の 1オンス=1649.10ドルで取引を終了した。

5:10

NY原油は、中心限月が前週末比 1.31ドル高の 1バレル=97.03ドルで取引を終了した。

5:25

《 要人発言 》

米財務次官

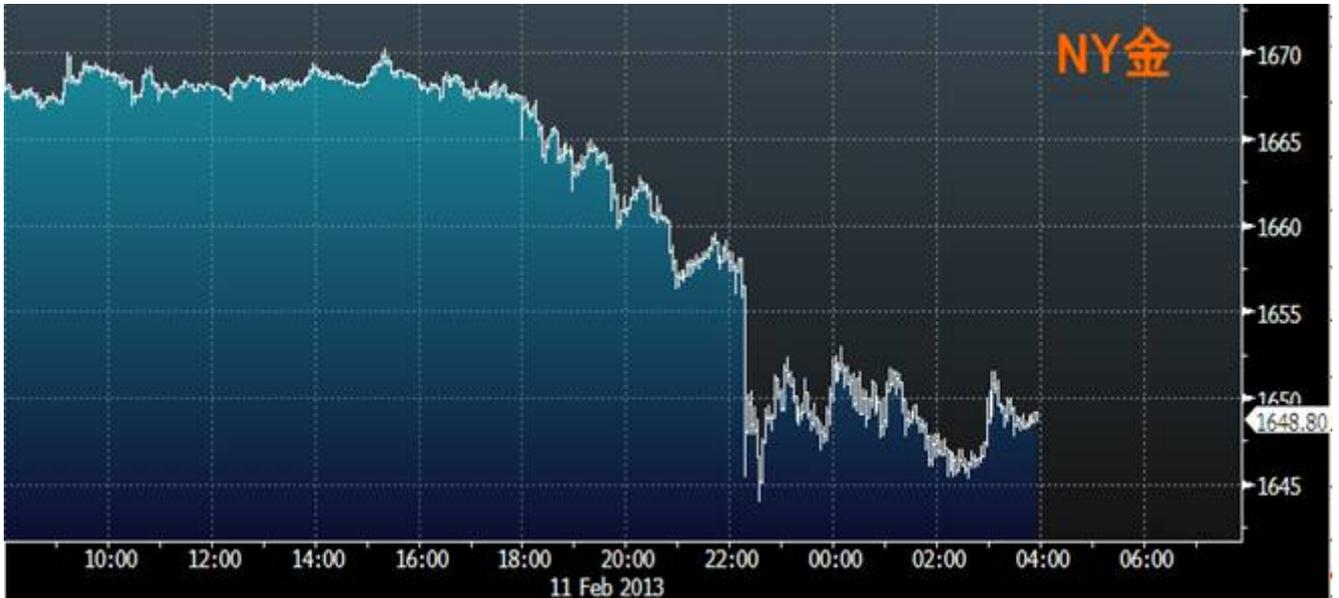
- ・「市場の特徴づけはしない」
- ・「過度の変動なければ為替レートは市場が決めるのがG7のルール」
- ・「日本は金融政策とともに構造改革の実行が重要」
- ・「成長促進とデフレ脱却を目指す日本の努力を支持」

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1649.10	-17.80
NY 原油	97.03	+1.31

(出所:ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

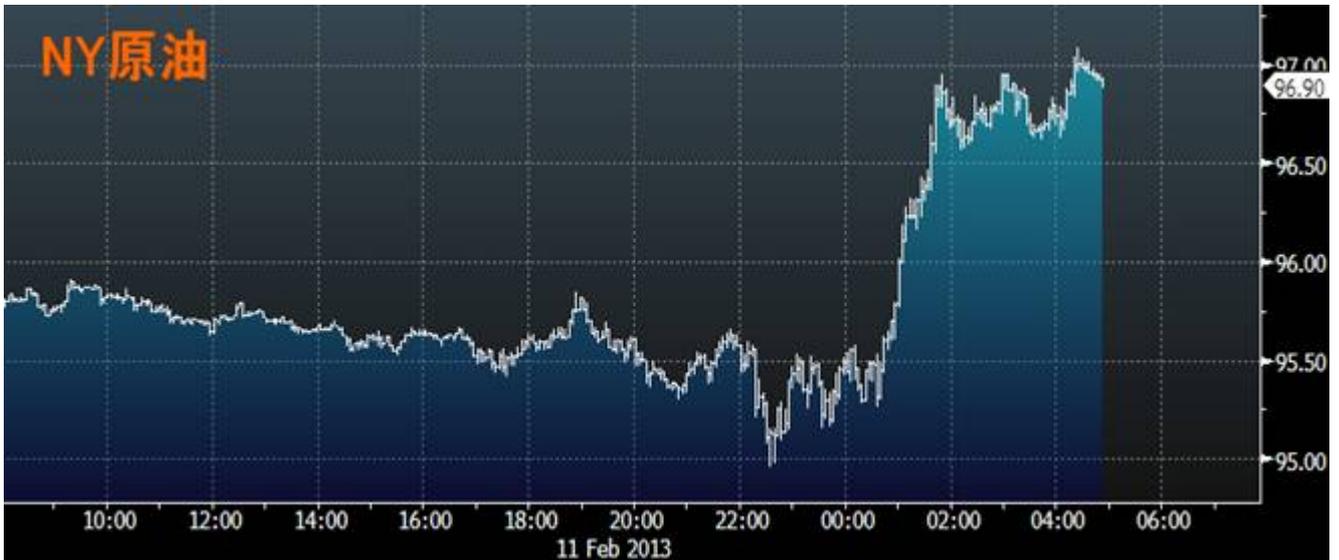
NY金は、中国市場が春節連休で休場となっているため、実需筋からの買いが減少するとの見方から売りが優勢となった。終値ベースでは、3営業日続落となり、1月7日以来、約1ヵ月ぶりの安値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、ドルがユーロなどに対して下落し、ドル建ての原油先物に割安感が出たことから、買いが優勢となった。また、前週末までの下落が続いた反動で買い戻しも入り、4営業日ぶりに反発となった。



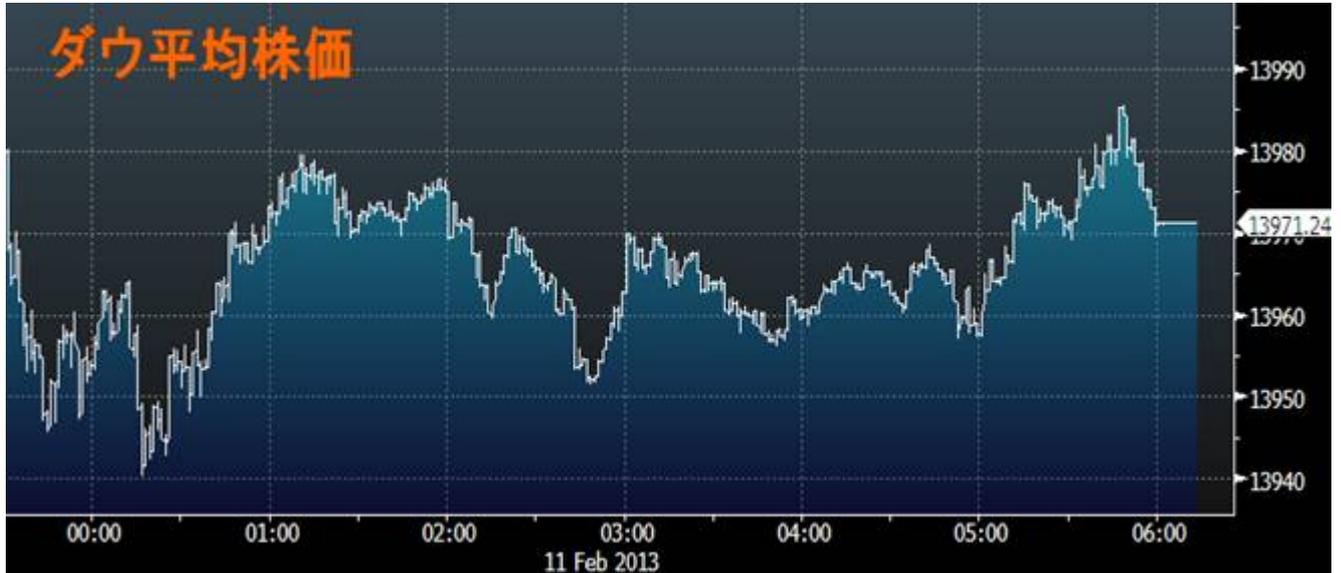
(出所:ブルームバーグ)

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	13971.24	-21.73	13992.97	13940.41
S&P500 種	1517.01	-0.92	1518.31	1513.61
ナスダック	3192.00	-1.87	3194.01	3182.18

(出所:ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、主要な米経済指標の発表がない中、このところのダウ平均株価が上昇基調にあることや、前週末にナスダック総合指数が約 12 年 3 ヶ月ぶりの高値をつけたことを背景に、利益確定の売りが優勢となった。ダウ平均株価は、軟調な展開で始まり、序盤に前週末比 52 ドル安まで下落したものの、その後は下げ幅を縮小した。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	94.18	94.24	93.19
EUR/JPY	126.29	126.31	124.51
GBP/JPY	147.53	147.60	146.01
AUD/JPY	96.61	96.72	95.69
NZD/JPY	78.69	78.74	77.61
EUR/USD	1.3411	1.3428	1.3363
AUD/USD	1.0258	1.0288	1.0258

(出所:ブルームバーグ)

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧州市場の円売りの流れが一服し、ドル円・クロス円はやや軟調な展開で始まった。序盤は、利益確定の円買戻しの動きや、G20 で為替相場が協議されるとの要人発言を受けて、ドル円・クロス円は軟調な動きとなったものの、その後は値を戻す動きも見られた。そして、新規材料に乏しく小動きの展開が続いたものの、終盤には米財務次官の発言を受けて円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は終盤に大幅な上昇となった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。